

## タブレット端末の貸与に伴う会議のペーパーレス化について

### 1 ペーパーレス化の概要

議会改革の一環として、タブレット端末を導入し、議案及び議案概要書並びに委員会資料などを電子データ化（PDF形式）して、事務の効率化を図るものである。

### 2 ペーパーレス化のメリット

- 1) 印刷代・紙代などのコスト削減
- 2) 資料準備の業務負担軽減
- 3) 会議直前の資料集成やデータ差し替えが可能
- 4) 大量の資料を容易に保存可能
- 5) 過去資料の検索が容易に可能

### 3 ペーパーレス化のデメリット（進まない理由）

- 1) メモが取りづらく、自由度が低い
- 2) 複数資料を同時に見ることができない
- 3) ICTに不慣れな人にとっては利便性が悪い

### 4 ペーパーレス化等の成功例

現在では、多くの市町村議会においてタブレット端末が導入され始めております。滋賀県大津市議会でのタブレット端末導入における効果について紹介いたします。

- ・年間 50 万枚以上の印刷用紙の節約に成功した。
- ・資料がタブレット上で動くため、説明がわかりやすくなった。
- ・資料がモノクロ印刷からカラーになったことで読みやすくなった。
- ・グループウェアにより過去のデータを閲覧でき、利便性が高まった。
- ・事務所に置く資料が減り、スペースが確保できた。
- ・大量の議案関係資料を持ち歩く必要がなく、便利になった。

### 5 平成 30 年中の資料の配布状況

総務委員会					
2月16日	52ページ	5月28日	12ページ	12月18日	12ページ
3月6日	12ページ	8月22日	45ページ		
4月12日	93ページ	10月18日	27ページ		
文教厚生委員会					
2月5日	315ページ	8月31日	25ページ	11月5日	63ページ
4月24日	70ページ	9月7日	5ページ		
7月17日	11ページ	9月28日	14ページ		

産業建設委員会		
5月17日	21ページ	
10月17日	9ページ	

議会運営委員会					
2月9日	47ページ	5月24日	40ページ	9月19日	20ページ
2月22日	14ページ	6月8日	8ページ	11月2日	41ページ
3月1日	25ページ	7月23日	20ページ	11月13日	10ページ
3月20日	54ページ	8月9日	20ページ	11月20日	14ページ
5月9日	34ページ	8月28日	102ページ	11月21日	1ページ
5月17日	1ページ	9月4日	18ページ	12月5日	50ページ

全員協議会					
2月9日	813ページ	5月24日	39ページ	9月6日	2ページ
2月22日	1,299ページ	6月8日	13ページ	9月19日	16ページ
2月1日	12ページ	7月23日	41ページ	11月13日	226ページ
3月20日	55ページ	8月28日	891ページ	11月20日	11ページ
5月17日	317ページ	9月4日	13ページ	11月21日	1ページ
				12月5日	15ページ

本会議会議録		
第1回定例会	227ページ	第2回定例会 103ページ
第1回臨時会	8ページ	

その他		
議案審査特別委員会	特別会計・水道事業会計	一般会計
第1回定例会 109ページ	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会
第2回定例会 3ページ	66ページ	160ページ
第3回定例会 7ページ		
第4回定例会 7ページ		

計 5,445 ページ

(参考 : 5,445 ページ×16 人=87,120 ページ)

## 6 県内市議会のタブレット端末導入状況

(平成30年7月1日現在)

実施状況	自治体名
導入している (6市)	石岡市、笠間市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、(美浦村)
導入していない (26市)	水戸市、日立市、土浦市、古河市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、行方市、桜川市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市